



朝日が昇る神割崎



5万本のツツジが咲き誇る田束山



はじめに



このたび、平成17年10月1日に志津川町と歌津町が合併し、新しく誕生した「南三陸町」のはじめての総合計画を策定しました。

南三陸町はこれまで豊かな自然の恵みを財産として、水産業や農業などの第一次産業を中心に暮らしを営み、他に誇りうる固有の風土を育んできました。

しかしながら、本町を取り巻く社会・経済情勢は急速に変化しており、これからのまちづくりは、人口減少社会の到来や財政規模の縮小、危機管理体制の構築や環境への一層の配慮を念頭に進めていく必要があります。

今後は、南三陸町としての個性を磨き・高め・発信し、他の地域と競い合い、切磋琢磨していかなければならないことから、南三陸町ならではのブランド創りに積極的に取組んでいきます。

また、町民生活の安全安心の実現も喫緊の大きな課題であり、「南三陸町に住んでよかった。」と実感できるような施策を実行し、なおかつ町民の皆様とともに創造していく南三陸町という考え方を具現化していくため、「協働のまちづくり」という概念を意識して計画づくりを行いました。

総合計画は、行政運営のためだけの計画ではなく、町民の皆様と一緒にまちづくりを進めていくための協働推進計画という一面も持ち合わせています。

私達は、町の将来像とする「自然・ひと・なりわいが紡ぐ 安らぎと賑わいのあるまち・南三陸町」の実現に向け、全力を挙げて取り組んでいかなければなりません。これからの総合計画を基本としたまちづくりの推進につきまして、一層のご理解とご協力をお願いします。

最後に、本計画の策定にあたり、熱心にご審議いただきました町議会や総合計画審議会の委員の皆様をはじめ、まちづくりワークショップの委員やまちづくり住民意向調査で貴重なご意見をいただきました多くの町民の皆様に心から感謝を申し上げます。

平成19年3月

南三陸町長